

# REALAPS – Omni シリーズ インストール マニュアル

2020年10月7日

株式会社 ビジュアル・テクノロジー研究所（略称：VTL）

I	REALAPS-Omni シリーズ 使用前の準備 .....	1
II	コードメーターの準備 .....	1
	[新規ユーザーさま].....	2
	[継続ユーザーさま].....	2
III	REALAPS-Omni シリーズのインストール.....	4
	[インストール].....	4
	[オプションライセンスの追加].....	7
	[ソフトウェアの更新].....	7
	[アンインストール].....	7

# I REALAPS-Omni シリーズ 使用前の準備

REALAPS-Omni シリーズを使用する準備として、次のアイテムが必要となります。

①	コードメーターキー (USB ドングル)	VTL 社から郵送等でお送りいたします。 継続ユーザーさまがオプションライセンスを追加する場合は、ライセンス更新の手続きを行った上で、お手元のコードメーターキーをそのまま利用いただけます。
②	一括インストーラー (MSI 形式データ)	VTL 社ウェブサイトから ZIP ファイルをダウンロードし、解凍してください。
③	StarterBase.xml ファイル (XML 形式データ)	VTL 社から E メール等でお送りいたします。 一括インストーラーをはじめて利用する場合と、オプションライセンスの追加変更をする場合に必要です。

2020年9月末より、REALAPS-Omni シリーズのインストーラーを「一括インストーラー」に統合しております。それにより、新規ユーザーさまの場合と、継続ユーザーさまがオプションライセンスの追加・更新のためにはじめて「一括インストーラー」を利用する場合、上表③の StarterBase.xml ファイルを VTL 社から受け取る必要があります。初回以降、ソフトウェアのアップデートやバージョンアップで一括インストールを使用する際には、新たな StarterBase.xml を入手する必要はありません。

# II コードメーターの準備

REALAPS-Omni シリーズは、コードメーターを用いてライセンス管理とプログラムの暗号化を行っています。

スタンドアロン版ライセンス (PC1 台で使用) の場合は使用する PC の USB ポートに、ネットワーク版ライセンス (ネットワーク上の PC 複数台で使用) の場合は、ライセンスサーバーにあたる PC 1 台の USB ポートに、コードメーターキー (USB ドングル) を常時接続しておく必要があります。



コードメーターキー (USB ドングル)

## [新規ユーザーさま]

- (1) VTL 社から発送するコードメーターキーをお受け取りください。
- (2) VTL 社ウェブサイト上から“コードメーターランタイムキット”のインストーラーをダウンロードし、当ソフトウェアを使用するコンピュータに“コードメーターランタイムキット”をインストールしてください。



画面の指示に従いインストールを進めてください

## (3) ネットワーク版ライセンスの場合

当ソフトウェアを使用する全てのコンピュータと、ライセンスサーバーにあたるコンピュータにランタイムキットをインストールしたのち、続いて「ネットワーク設定」を行います。ネットワーク設定の詳細は別途、VTL 社ウェブサイト上にご用意している「コードメーターのネットワーク設定について」をご参照ください。

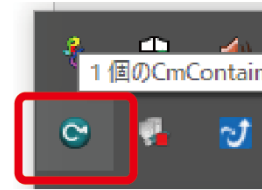
- (4) REALAPS-Omni シリーズを使用する PC (ネットワーク版ライセンスの場合はライセンスサーバーにあたる PC) の USB ポートに、コードメーターキーを接続してください。

## [継続ユーザーさま]

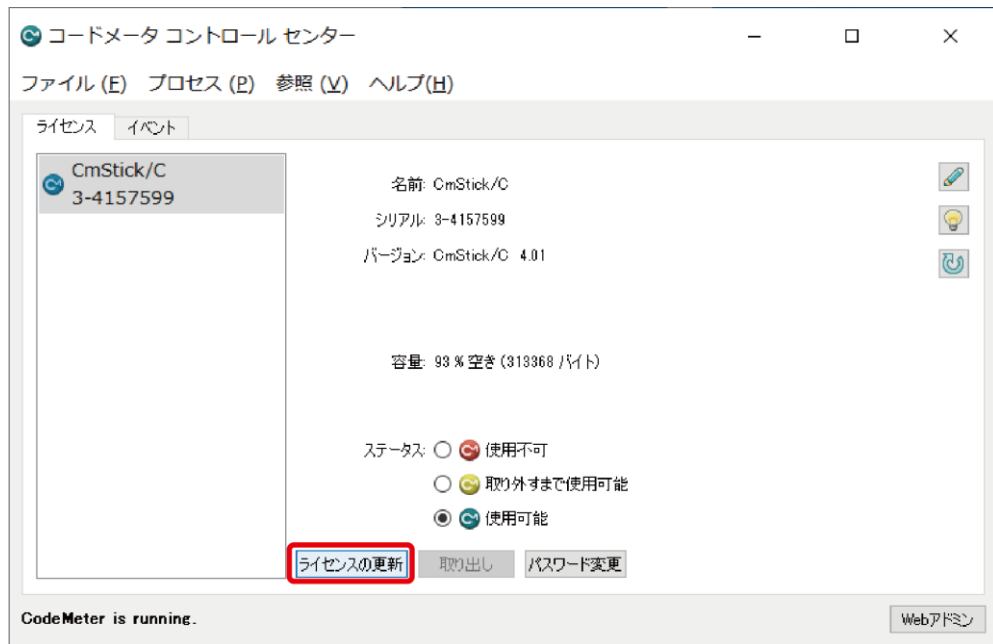
お手元にあるコードメーターキーをそのままお使いいただけます。

オプションライセンスの追加や、ネットワークライセンス数の変更をする場合は、ライセンスの更新手続きが必要です。手続きの詳細については VTL 担当者より別途ご案内いたしますが、手順の概要は次の通りです。

- (1) コードメーターキーを PC に装着し、Windows のタスクトレイからコードメーターコントロールセンターを開きます。



- (2) コードメーターコントロールセンターで「ライセンス要求ファイル」を作成します。これを E メール等で VTL 担当者へ送付いただきます。



画面の指示に従い、ライセンス要求ファイルの作成を進めてください

- (3) VTL 担当者より、「ライセンス更新ファイル」を返送いたします。(あわせて、インストールの手順で使用する「StarterBase.xml ファイル」もお送りします。)
- (4) コードメーターコントロールセンターで「ライセンス更新ファイル」をインポートするとライセンスが更新されます。

### III REALAPS-Omni シリーズのインストール

REALAPS-Omni とそのオプションシリーズのインストールは、全て「一括インストーラー (REALAPS-Omni-ALL)」から行うことができます。VTL 社ウェブサイトから最新の 一括インストーラー をダウンロードしてください。インストーラーには、スタンドアローンライセンス用とネットワークライセンス用の 2 種類がありますので、ご購入いただいたライセンスを選択してください。

#### [インストール]

(1) 一括インストーラーをはじめて利用する場合

VTL 社から受け取った StarterBase.xml ファイルを PC 上の任意の場所に保存します。

(2) 継続ユーザーさまで、一括インストーラーをはじめて利用する場合

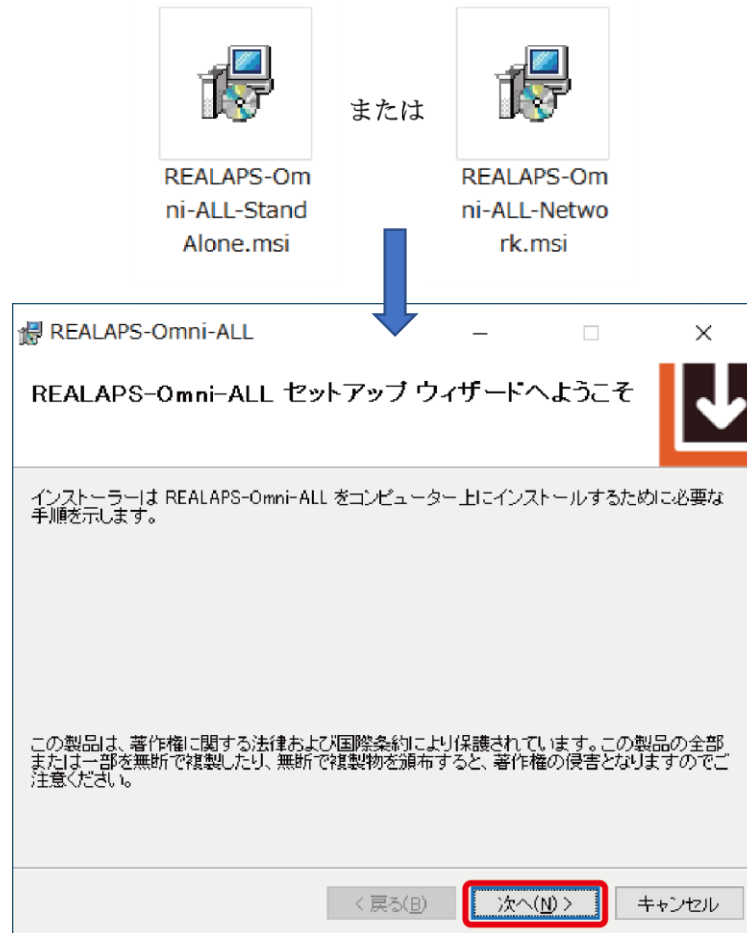
旧バージョンの REALAPS-Omni シリーズをアンインストールしてください。アンインストールには、もとのインストーラー (※) を起動して、アンインストールを選択してください。

※2020 年 9 月以前にダウンロードした

“REALAPS-Omni-〇〇-StandAlone(Network).msi”、“REALAPS-Omni-〇〇-Set-StandAlone(Network).msi” など



(3) VTL 社ウェブサイトからダウンロードした ZIP ファイルを解凍し、一括インストーラー (REALAPS-Omni-ALL) を起動します。続いて画面の指示に従ってインストールを進めます。



画面の指示に従いインストールを進めてください

- (4) インストール完了後、デスクトップ上に作成された REALAPS-Starter のショートカットをダブルクリック、または Windows のスタートメニューから、ビジュアル・テクノロジー研究所 → REALAPS-Starter を選択して REALAPS-Starter を起動します。



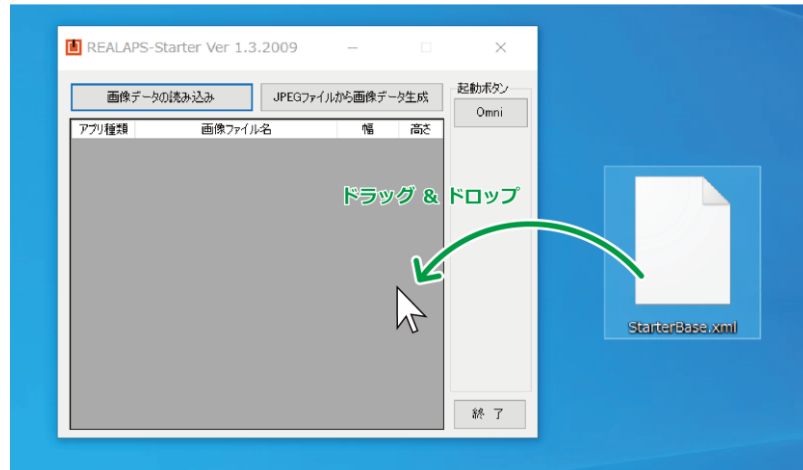
REALAPS-Starter のショートカット



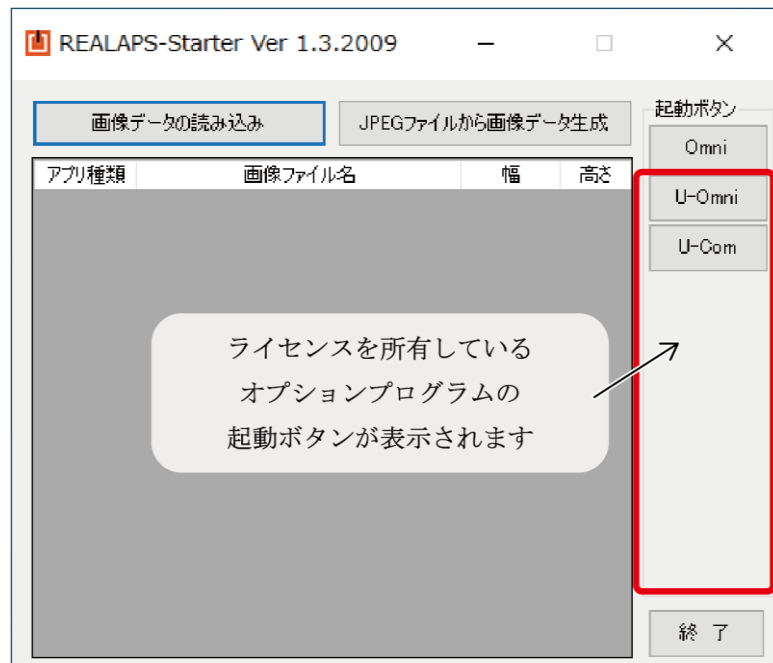
Windows のスタートメニュー

(5) 一括インストーラーをはじめて利用する場合

REALAPS-Starter 画面上のいずれかの場所に、準備した StarterBase.xml ファイルをドラッグ&ドロップします。これによりコードメーターのライセンスの設定が読み込まれます。(準備していた StarterBase.xml ファイルは、以降、原則として必要になりません。)



(6) REALAPS-Starter 画面が再表示されると、ライセンスを所有しているプログラムの起動ボタンが画面の右欄に表示されます。(下図は U-Omni、U-Com を所有している例)



(7) 次回からは、REALAPS-Starter を起動させるだけで、ライセンスを所有しているプログラムをご利用いただけます。



- (8) ネットワーク版ライセンスをご利用の場合は、当ソフトウェアを使用する全てのコンピュータに対して上記の手順を行ってください。(以降、ライセンス数の追加を行う場合にも当初 VTL から受け取った StarterBase.xml ファイルを利用できます。)

### [オプションライセンスの追加]

コードメーターの更新手続きを行った上で、新しく入手した StarterBase.xml ファイルを REALAPS-Starter 画面にドラッグ&ドロップします。(ソフトウェアを最新バージョンに対応させるには、あらかじめ最新の一括インストーラーから再インストールしてください。)

### [ソフトウェアの更新]

ソフトウェアのアップデート・バージョンアップをする場合は、最新の一括インストーラーから再インストールしてください。StarterBase.xml ファイルの手順は必要ありません。

### [アンインストール]

アンインストールを行う場合も、一括インストーラーを利用してください。  
アンインストール後、再インストールした場合 StarterBase.xml の手順は必要ありません。



以上